



長生郡市広域市町村圏組合水道部

# 料金改定に係る 第1回水道審議会



# 第1回水道審議会

## 目次

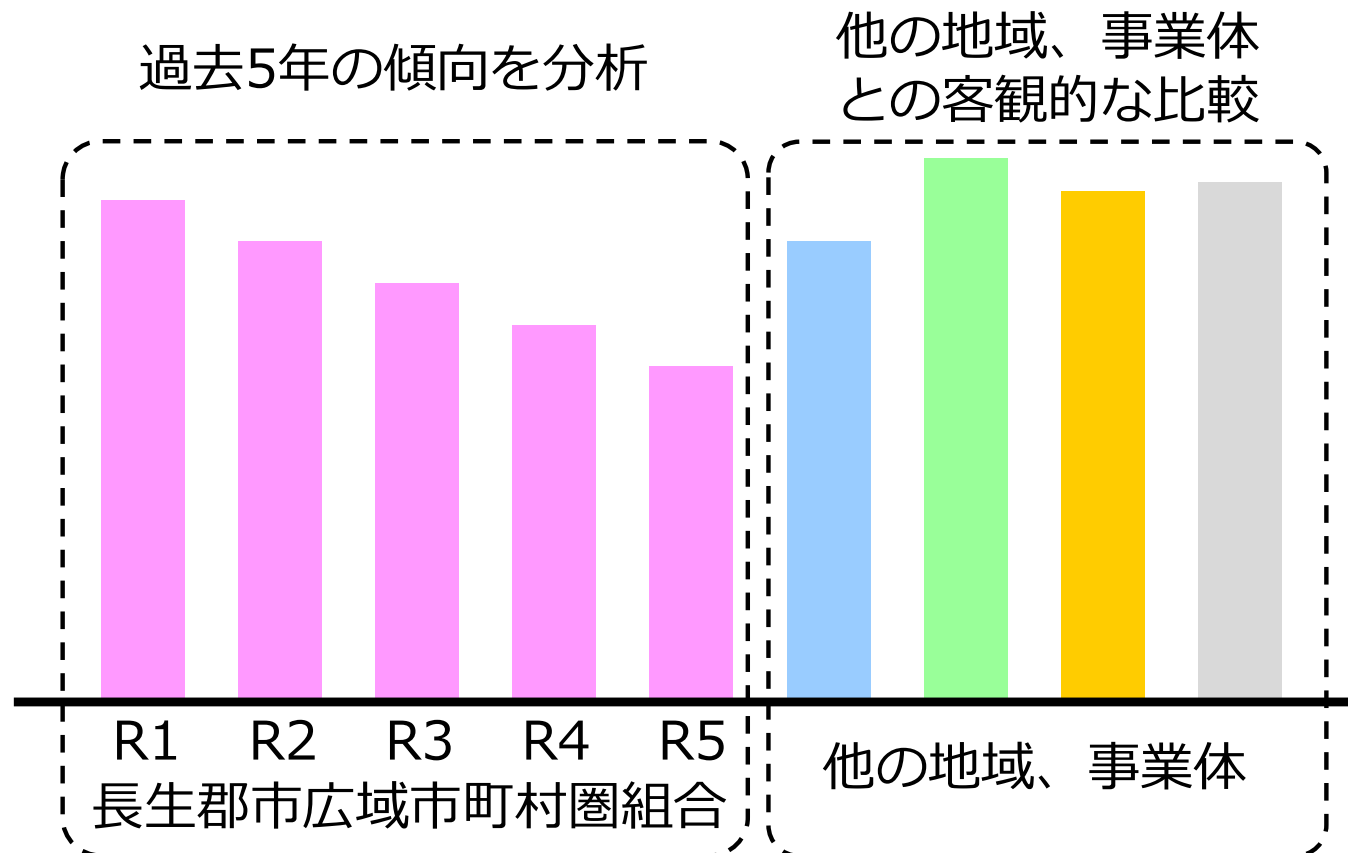
1. 水道事業の経営状況
2. 水道事業の費用削減の取り組み
3. 将来の料金改定率の見込み
4. まとめ

参考資料（評価指標の一覧）

## 業務指標・水道事業経営指標を用いた経営分析

- **業務指標** は、「水道事業ガイドライン」に定められる国内規格
- **水道事業経営指標** は、総務省から毎年度公表される指標
- 長生郡市広域市町村圏組合水道事業の現状を把握・評価できる。

### 評価方法



# 1. 水道事業の経営状況

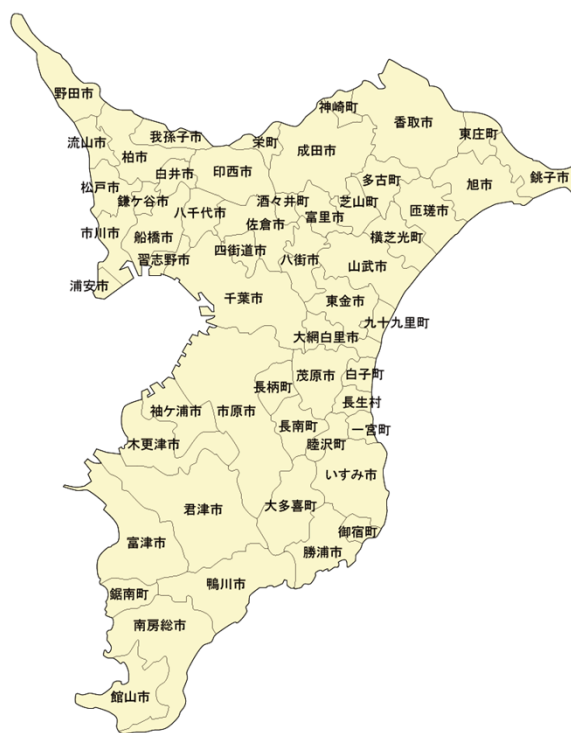
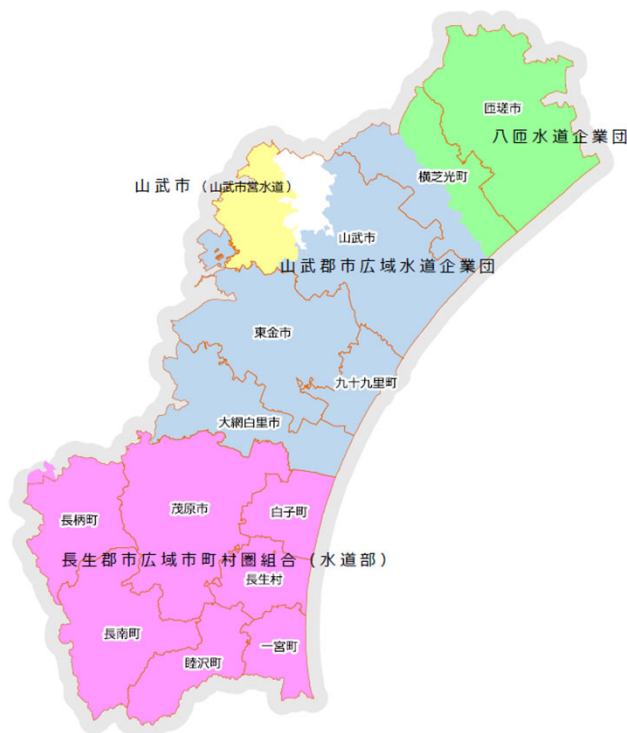
## 比較対象

- **九十九里地域の他事業体、千葉県内の平均<sup>\*1</sup>、同規模事業体の平均<sup>\*2</sup>、全国平均<sup>\*3</sup>と比較する。**

九十九里地域の  
他事業体

千葉県内の  
平均

全国平均



\*1 千葉県内の末端給水事業体の平均  
\*2 令和5年度末の給水人口10~15万人の89末端給水事業体の平均  
\*3 全国の末端給水事業体の平均

## 評価指標

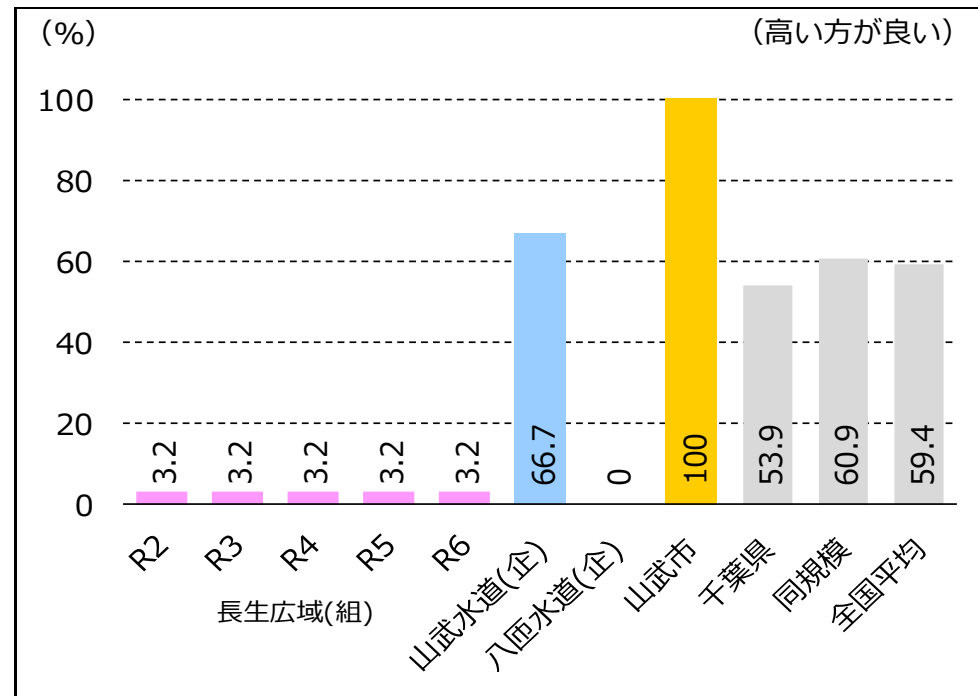
- 水道事業の経営の安定はもちろん重要だが、近年では老朽化や自然災害により、**安全な水の常時供給**が脅かされている。
- このため、**経営の効率性や健全性**だけでなく、**老朽化・耐震化の状況**も評価する。

分類	視点	評価指標
安全・強靱	耐震化対策	浄水施設の耐震化率
		配水池の耐震化率
		管路の耐震管率
	老朽化対策	有形固定資産減価償却率
		管路の経年管率
		管路の更新率
持続	経営の効率性	施設利用率
		有収率
	経営の健全性	自己資本構成比率
		経常収支比率
		累積欠損金比率
		流動比率
		企業債残高対給水収益比率
		料金回収率
給水原価		

## 経営状況の分析結果

### 配水池の耐震化率

- 配水池の耐震化が進んでいない。
- 老朽化対策と合わせて耐震化対策の推進が必要である。

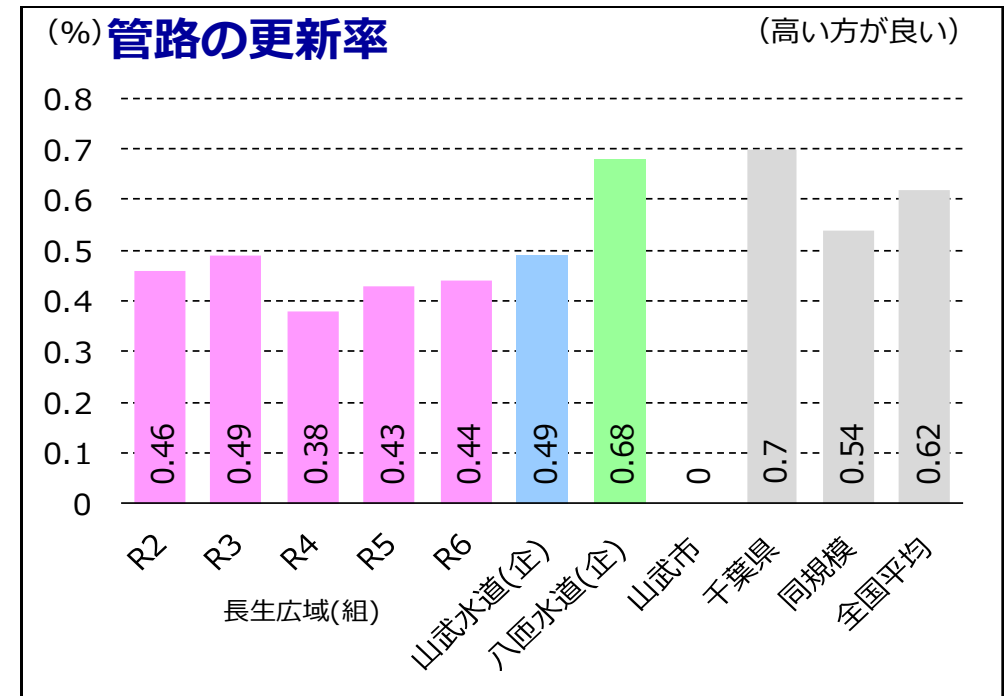
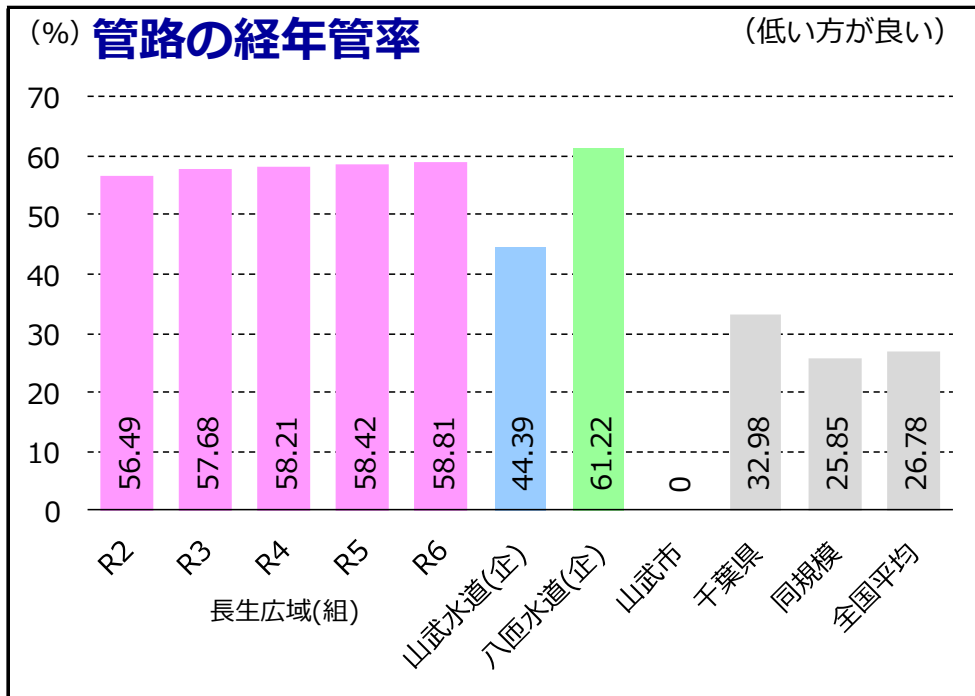


※1 データの出典：水道統計調査

※2 九十九里地域、千葉県、同規模事業体、全国平均はR5年度

## 管路の経年管率・更新率

- 管路の老朽化の状況は、千葉県内、同規模事業者の状況と比較して進行している。
- 管路の更新率は、0.4～0.5%（すべての管の更新に200～250年かかるペース）であり、他の地域や事業者と比較して小さい。
- 管路の老朽化は、今後さらに深刻になるので、管路更新はこれまで以上に推進する必要がある。



※1 データの出典：決算状況調査

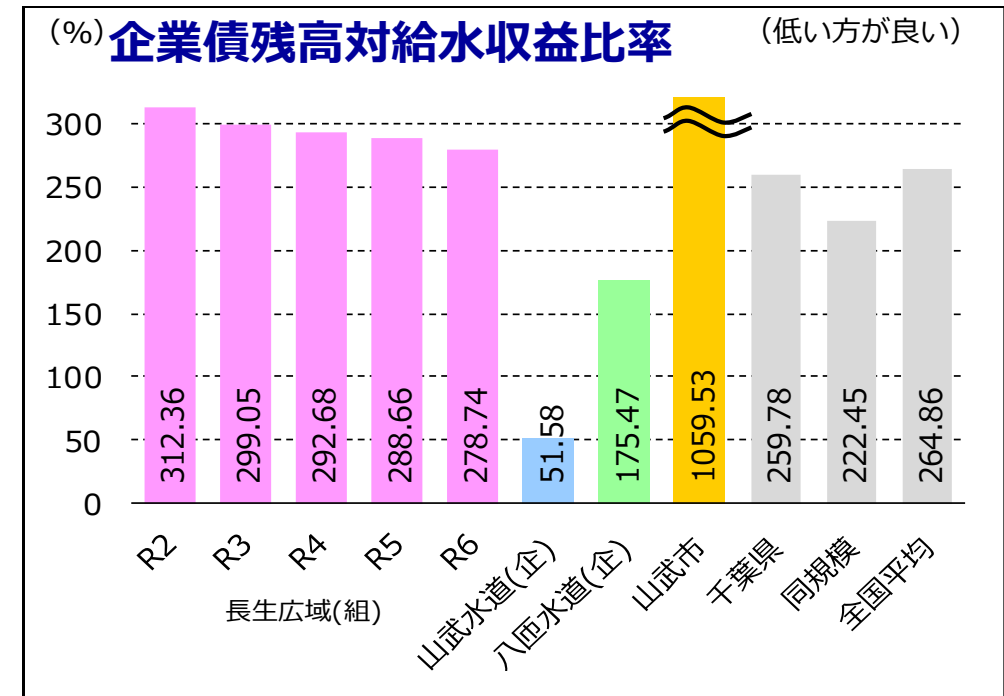
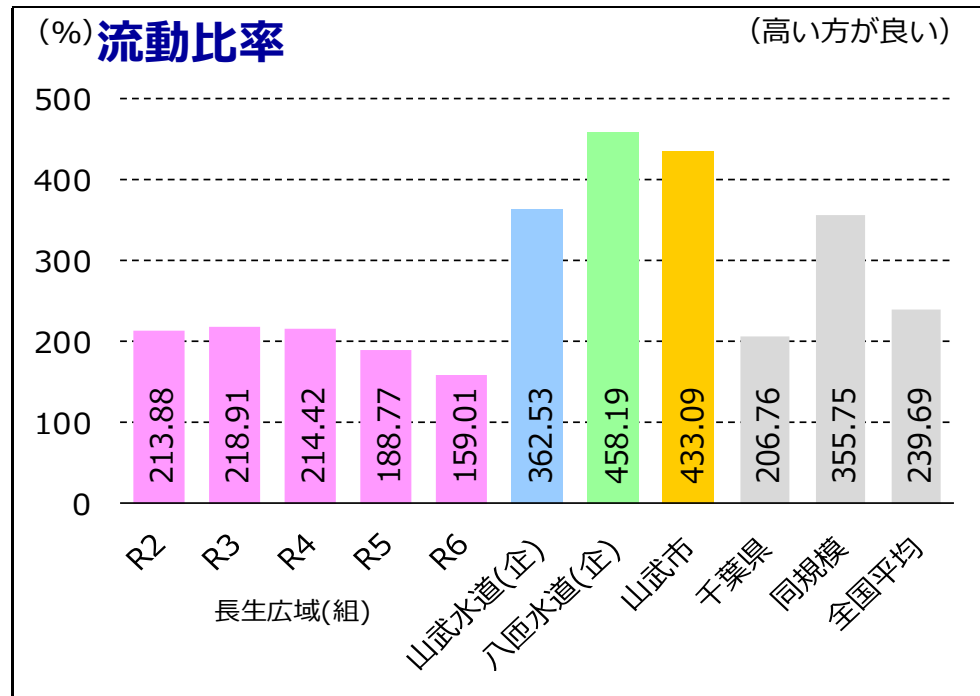
※2 九十九里地域、千葉県、同規模事業者、全国平均はR6年度

※1 データの出典：水道統計調査

※2 九十九里地域、千葉県、同規模事業者、全国平均はR5年度

## 流動比率・企業債残高対給水収益比率

- 流動比率は、短期的な債務に対する支払い能力を示す指標で100%以上が必要。現状は160%程度のため財務状況は健全だが、減少（悪化）の傾向のため、料金改定等により財源確保を継続する必要がある。
- 企業債残高は減少（改善）傾向だが、他地域と比較すると高い。今後も企業債等の外部負債の削減に努める必要がある。



※1 データの出典：決算状況調査

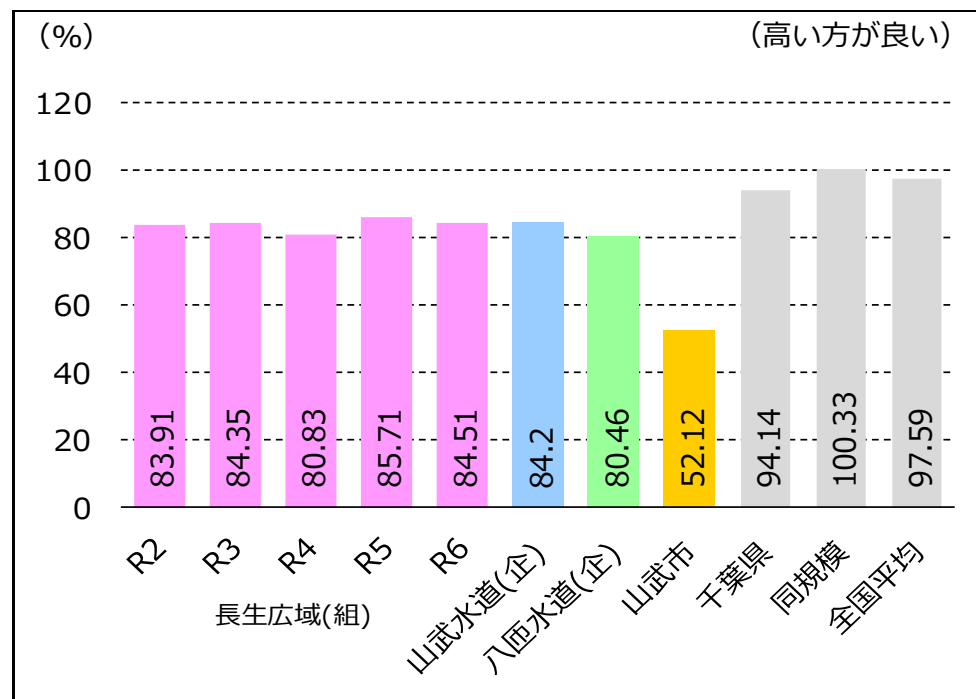
※2 九十九里地域、千葉県、同規模事業体、全国平均はR6年度

※1 データの出典：決算状況調査

※2 九十九里地域、千葉県、同規模事業体、全国平均はR6年度

## 料金回収率

- 水道水を作るための費用が、どの程度料金収入でまかなえているかを示す指標で、100%以上が望ましい。
- 現状は80%程度であり、水道水を作るための費用に対して、市町村から繰入を受けている。
- 水道水を作る費用は水道料金でまかなうという原則（独立採算制）があるため、料金回収率は将来的に100%を目指す必要がある。



※1 データの出典：決算状況調査

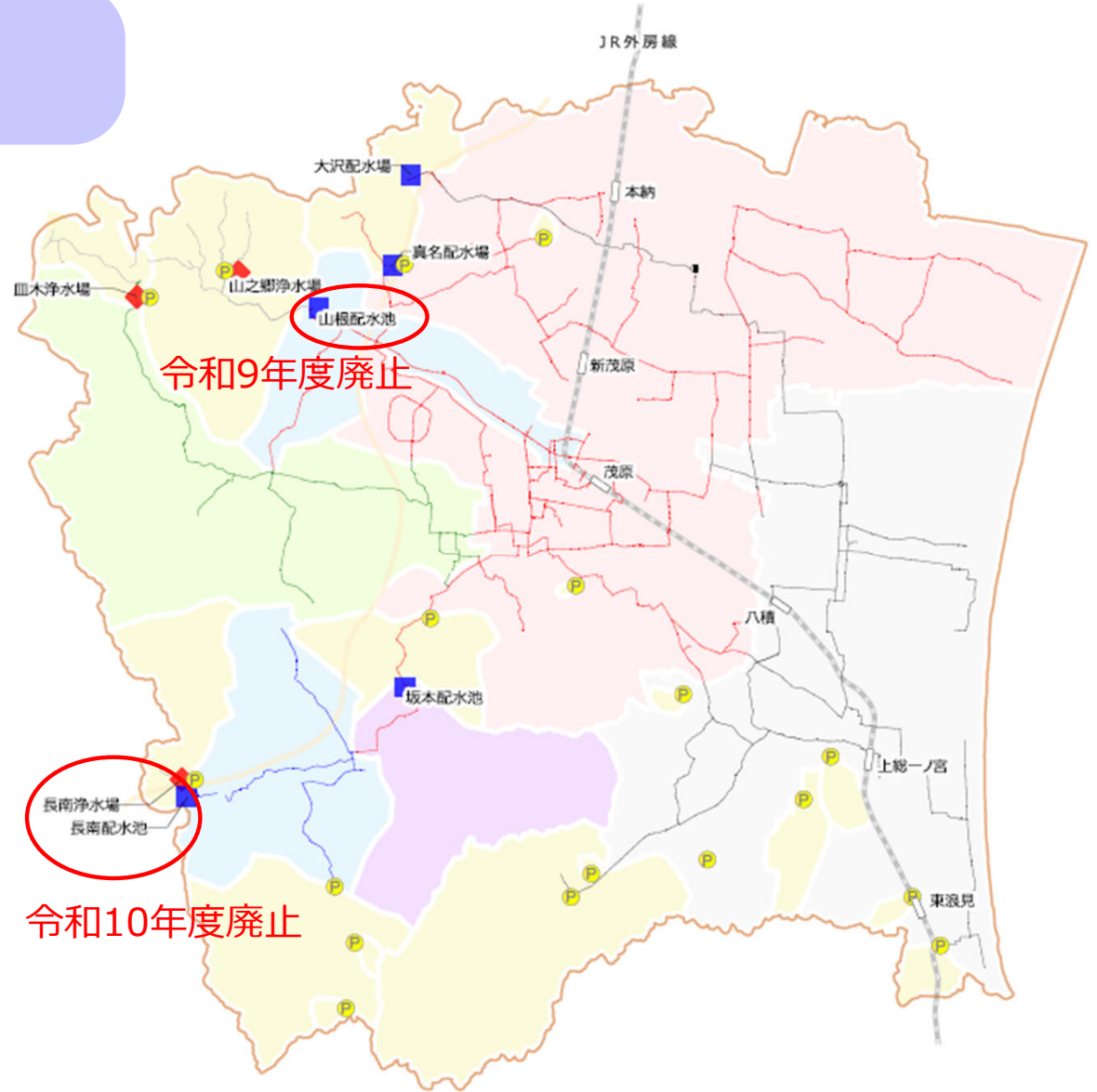
※2 九十九里地域、千葉県、同規模事業体、全国平均はR6年度

## 経営状況の分析結果のまとめ

分類	視点	評価
安全 強靱	耐震化対策	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 配水池の耐震化が進んでいない。</li><li>・ 管路の耐震化は進みつつある。</li></ul>
	老朽化対策	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 水道施設や管路の老朽化が進行しているが、管路更新率は0.4%程度と低い。</li></ul>
持続	経営の効率性	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 施設利用率が低く、施設の規模が過大であると考えられる。</li><li>・ 有収率が他の事業体と比較すると低い。</li></ul>
	経営の健全性	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 受水費が給水原価に与える影響が大きい。今後、受水費単価の改定もあるので、適切な料金水準を設定が必要である。</li><li>・ 流動比率が減少傾向なので、料金改定等により財源確保を継続する必要がある。</li></ul>

## 更新費用の削減

- 水需要の減少に伴い、水道施設の統廃合を行い、将来の更新需要を削減
- 投資を集中することにより、施設の耐震化を推進する。



施設名	建設年度	R5における 経過年数	配水池容量 (m)	R5 一日最大配水量 (m/日)	配水池 滞留時間※		
浄水池	山之郷浄水場	S47 (1972)	250×1池	3,944	3.7		
		S55 (1980)	350×1池				
浄水池	長南浄水場	S45 (1970)	90×1池	1,173	1.8		
配水池	皿木浄水場	S39 (1964)	1,500×2池	6,407	48.7		
		S48 (1973)	10,000×1池				
	長南配水池	H16 (2004)	1,500×1池	1,085	33.2		
	真名配水池	S55 (1980)	44	7,000×2池	32,840	10.2	
	山根配水池	大沢配水池	H13 (2001)	23	10,000×1池	14,430	16.6
			S17 (1942)	82	450×1池	3,832	22.2
			S30 (1955)	69	600×1池		
	S47 (1972)	52	2,500×1池				
坂本配水池	H4 (1992)	32	5,000×1池	2,029	59.1		
計			47,050	58,594	19.3		

※令和5年度の施設別一日最大配水量に対する滞留時間

## 財政収支の算定条件

### 【収益的収入】

水道料金収入 : 供給単価 × 有収水量

市町村負担金 : 4.6億円/年 (現状よりも0.6億円増額)

県補助金 : 令和8年度以降は縮小の見込み

現状の傾向が今後も続くと仮定

### 【収益的支出】

受水費 : 将来の受水量及び受水単価を考慮

維持管理費 : 物価、人件費、利息の上昇を考慮

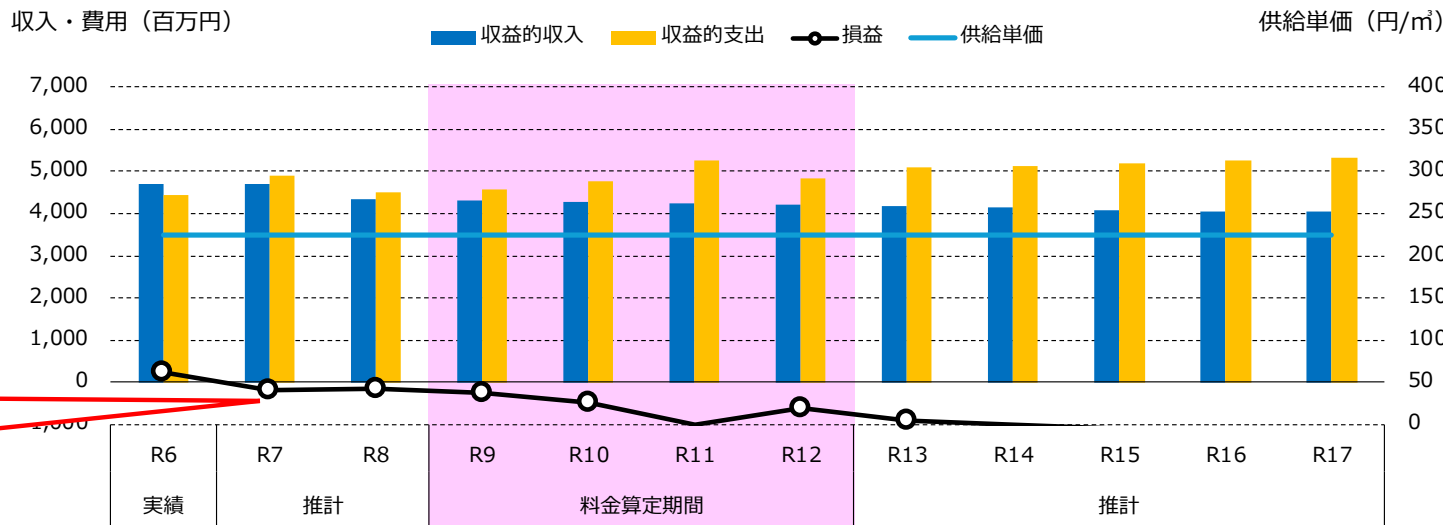
九十九里地域・南房総地域の水道用水供給事業と県営水道の統合による影響を考慮

### 建設改良費 :

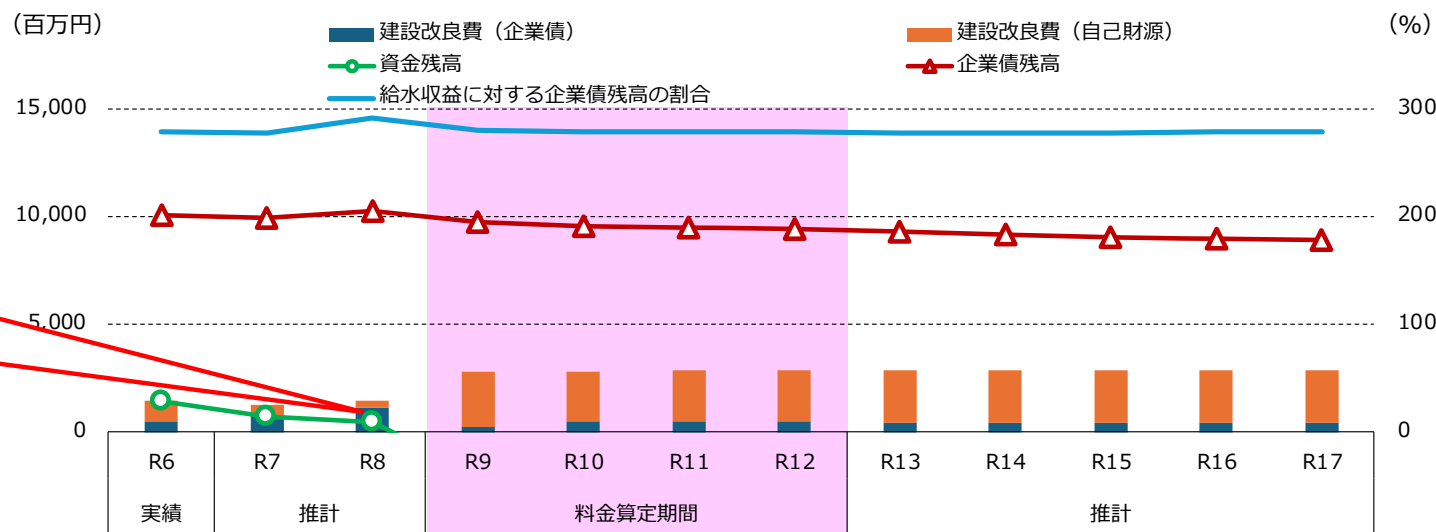
- 施設・設備等の更新
- 管路の更新 (老朽化対策のため、現状よりも高い水準とする)
  - 現 状 : 更新延長6~7 km/年 (更新率0.4%)
  - 令和9年度以降 : 更新延長13 km/年 (更新率0.8%)

## 財政収支の見積もり

### 料金改定しない場合



令和7年度以降は赤字が続く



令和9年度以降は資金不足となる

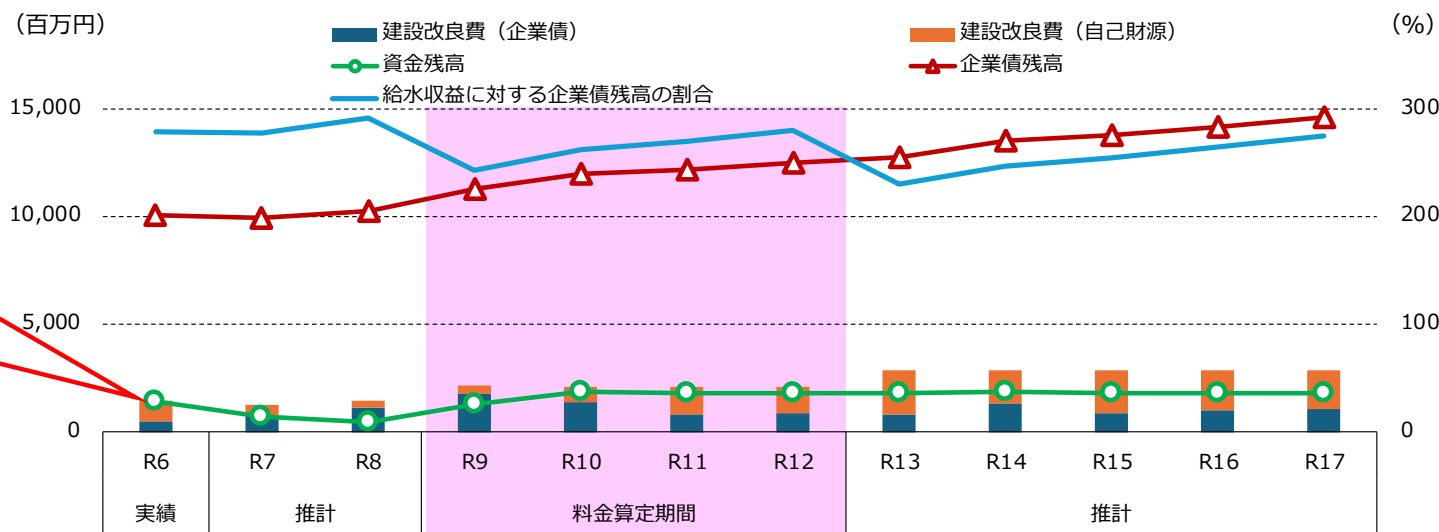
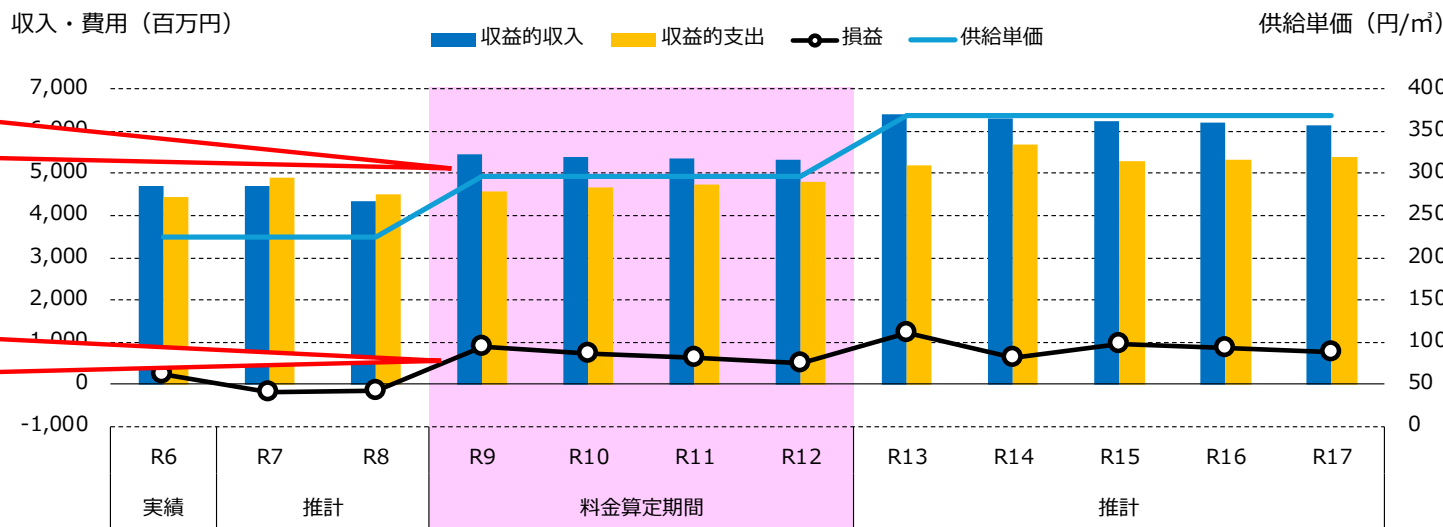
## 財政収支の見積もり

### 必要最小限の料金改定を行う場合

令和9年度に  
平均33%の改定

令和9年度以降は  
黒字に復調する

資金残高は  
18億円程度を維持

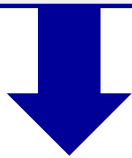


## 水道事業の現状

- 施設や管路の耐震性が不足。老朽化も進んでいる。
- 市町村からの繰入により料金収入の不足を補っている。また、流動比率（貯金）が減少傾向である。

## 将来の予測

- 物価上昇や材料費の高騰は将来も続くと想定されるため、水道事業の運営に必要な費用は増加の見込み
- 施設統廃合等による効率化を図ったとしても、**平均33%の料金改定が必要**



## 今後の課題

- 料金改定による**必要な資金の確保**
- 施設や管路の**更新・耐震の更なる促進**
- **受水単価の改定**への対応

## 耐震化対策

浄水施設の耐震化率	
【算出式】	$\frac{\text{耐震対策の施された浄水施設能力}}{\text{全浄水施設能力}} \times 100$ (高い方が良い)
【指標の解説】	浄水施設の耐震化の状況を表す指標で、数値が高いほど浄水施設の耐震化が完了していることを示す。
【評価】	<p>浄水施設の耐震化率は0%となっている。しかしながら、今後は水運用の見直しにより浄水場を廃止する方向性であるため、耐震化率は将来的に改善すると考えられる。</p>

配水池の耐震化率	
【算出式】	$\frac{\text{耐震対策の施された配水池有効容量}}{\text{配水池等有効容量}} \times 100$ (高い方が良い)
【指標の解説】	配水池の耐震化の状況を表す指標で、数値が高いほど配水池の耐震化が完了していることを示す。
【評価】	<p>配水池の耐震化率は3.2%となっており、九十九里地域（八咫水道(企)を除く）の実績及び千葉県平均等と比較すると低くなっている。このため、今後の老朽化対策と合わせて耐震化対策を施す必要がある。</p>

※1 データの出典：水道統計調査 ※2 九十九里地域、千葉県、同規模事業者、全国平均はR5年度

※1 データの出典：水道統計調査 ※2 九十九里地域、千葉県、同規模事業者、全国平均はR5年度

管路の耐震管率	
【算出式】	$\frac{\text{耐震管延長}}{\text{全管路延長}} \times 100$ (高い方が良い)
【指標の解説】	管路の耐震化の状況を表す指標で、数値が高いほど管路の耐震化が完了していることを示す。
【評価】	<p>令和6年度末の管路の耐震管率は15%となっており、山武水道(企)や山武市の実績と同程度である。しかしながら、千葉県や同規模事業者の平均と比較すると耐震管率は低い。このため、今後も引き続き管路の耐震化を実施し、耐震管率の向上に努める必要がある。</p>

※1 データの出典：水道統計調査 ※2 九十九里地域、千葉県、同規模事業者、全国平均はR5年度

## 老朽化対策

有形固定資産減価償却率															
【算出式】	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{償却対象資産の取得価格の総額}} \times 100$ (低い方が良い)														
【指標の解説】	償却対象資産の帳簿原価に占める減価償却累計額の比率であり、数値が高いほど資産の取得から年数が経過しており、水道施設の老朽化が進行していることを示す。														
【評価】	有形固定資産減価償却率は、過去5年で増加傾向であり、令和6年度の数値は九十九里地域の各事業体と同程度となっている。しかしながら、千葉県平均と同規模事業体の平均と比較すると有形固定資産減価償却率は大きく、水道施設及び管路の老朽化が進行していると考えられる。 このため、水道施設や管路の更新を行っていくとともに、水需要の減少を踏まえた施設の統廃合やスペックダウン、管路のダウンサイジングを検討する必要がある。														
	(%) <table border="1"> <tr><th>長生広域(組)</th><th>山武水道(企)</th><th>八匠水道(企)</th><th>山武市</th><th>千葉県</th><th>同規模</th><th>全国平均</th></tr> <tr><td>R2: 51.73, R3: 52.62, R4: 53.49, R5: 53.82, R6: 53.87</td><td>51.64</td><td>56.45</td><td>56.5</td><td>52.9</td><td>52.5</td><td>52.4</td></tr> </table>	長生広域(組)	山武水道(企)	八匠水道(企)	山武市	千葉県	同規模	全国平均	R2: 51.73, R3: 52.62, R4: 53.49, R5: 53.82, R6: 53.87	51.64	56.45	56.5	52.9	52.5	52.4
長生広域(組)	山武水道(企)	八匠水道(企)	山武市	千葉県	同規模	全国平均									
R2: 51.73, R3: 52.62, R4: 53.49, R5: 53.82, R6: 53.87	51.64	56.45	56.5	52.9	52.5	52.4									

管路の経年管率															
【算出式】	$\frac{\text{法定耐用年数を超過した導・送・配水管延長}}{\text{全管路延長}} \times 100$ (低い方が良い)														
【指標の解説】	法定耐用年数を超過した管路の状況を表す指標で、数値が高いほど管路の老朽化が進んでいることを示す。														
【評価】	管路の経年管率は年々増加しており、九十九里地域の実績や千葉県内の水道事業体、同規模事業体、全国平均よりも高い水準となっている。 管路の老朽化が進むと、漏水等の事故に発展する可能性もあることから、今後はさらに管路の更新を推進する必要がある。														
	(%) <table border="1"> <tr><th>長生広域(組)</th><th>山武水道(企)</th><th>八匠水道(企)</th><th>山武市</th><th>千葉県</th><th>同規模</th><th>全国平均</th></tr> <tr><td>R2: 56.49, R3: 57.68, R4: 58.21, R5: 58.42, R6: 58.81</td><td>44.39</td><td>61.22</td><td>0</td><td>32.98</td><td>25.85</td><td>26.78</td></tr> </table>	長生広域(組)	山武水道(企)	八匠水道(企)	山武市	千葉県	同規模	全国平均	R2: 56.49, R3: 57.68, R4: 58.21, R5: 58.42, R6: 58.81	44.39	61.22	0	32.98	25.85	26.78
長生広域(組)	山武水道(企)	八匠水道(企)	山武市	千葉県	同規模	全国平均									
R2: 56.49, R3: 57.68, R4: 58.21, R5: 58.42, R6: 58.81	44.39	61.22	0	32.98	25.85	26.78									

※1 データの出典：決算状況調査 ※2 九十九里地域、千葉県、同規模事業体、全国平均はR6年度

※1 データの出典：決算状況調査 ※2 九十九里地域、千葉県、同規模事業体、全国平均はR6年度

管路の更新率															
【算出式】	$\frac{\text{管路の更新延長}}{\text{全管路延長}} \times 100$ (高い方が良い)														
【指標の解説】	管路の更新状況を示す指標であり、数値が高いほど管路更新を実施していることを示す。														
【評価】	管路の更新率は0.4~0.5%程度で推移しており、山武水道(企)や八匠水道(企)の実績よりも低くなっており、千葉県平均や同規模事業体の平均よりも低い。 今後は管路の更新需要が増大することから、これまで以上に管路の更新延長を増加させる必要がある。														
	(%) <table border="1"> <tr><th>長生広域(組)</th><th>山武水道(企)</th><th>八匠水道(企)</th><th>山武市</th><th>千葉県</th><th>同規模</th><th>全国平均</th></tr> <tr><td>R2: 0.46, R3: 0.49, R4: 0.38, R5: 0.43, R6: 0.44</td><td>0.49</td><td>0.68</td><td>0</td><td>0.7</td><td>0.54</td><td>0.62</td></tr> </table>	長生広域(組)	山武水道(企)	八匠水道(企)	山武市	千葉県	同規模	全国平均	R2: 0.46, R3: 0.49, R4: 0.38, R5: 0.43, R6: 0.44	0.49	0.68	0	0.7	0.54	0.62
長生広域(組)	山武水道(企)	八匠水道(企)	山武市	千葉県	同規模	全国平均									
R2: 0.46, R3: 0.49, R4: 0.38, R5: 0.43, R6: 0.44	0.49	0.68	0	0.7	0.54	0.62									

※1 データの出典：水道統計調査 ※2 九十九里地域、千葉県、同規模事業体、全国平均はR5年度

## 経営の効率性

施設利用率																									
【算出式】	$\frac{\text{一日平均給水量}}{\text{施設能力 (認可値)}} \times 100$ (高い方が良い)																								
【指標の解説】	施設能力を平均的にどの程度使用しているかを示す指標で、数値が高いほど施設を効率的に利用しているといえるが、高すぎる場合は予備力の不足が懸念される。																								
【評価】	<p>施設利用率は50%程度で推移しており、九十九里地域の他事業体の実績や千葉県内・同規模事業体の平均と比較すると低い水準となっている。</p> <p>水需要の減少に応じたダウンサイジング等を実施することにより施設の効率性を維持することが重要である。</p>																								
	<table border="1"> <caption>施設利用率の比較</caption> <thead> <tr> <th>地域/事業体</th> <th>利用率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R2</td><td>48.9</td></tr> <tr><td>R3</td><td>47.9</td></tr> <tr><td>R4</td><td>48</td></tr> <tr><td>R5</td><td>48.5</td></tr> <tr><td>R6</td><td>48.8</td></tr> <tr><td>山武水道(企)</td><td>58.3</td></tr> <tr><td>八幡水道(企)</td><td>58</td></tr> <tr><td>山武市</td><td>54.1</td></tr> <tr><td>千葉県</td><td>67.9</td></tr> <tr><td>同規模</td><td>63.7</td></tr> <tr><td>全国平均</td><td>59.4</td></tr> </tbody> </table>	地域/事業体	利用率 (%)	R2	48.9	R3	47.9	R4	48	R5	48.5	R6	48.8	山武水道(企)	58.3	八幡水道(企)	58	山武市	54.1	千葉県	67.9	同規模	63.7	全国平均	59.4
地域/事業体	利用率 (%)																								
R2	48.9																								
R3	47.9																								
R4	48																								
R5	48.5																								
R6	48.8																								
山武水道(企)	58.3																								
八幡水道(企)	58																								
山武市	54.1																								
千葉県	67.9																								
同規模	63.7																								
全国平均	59.4																								

※1 データの出典：水道統計調査 ※2 九十九里地域、千葉県、同規模事業体、全国平均はR5年度

有収率																									
【算出式】	$\frac{\text{有収水量}}{\text{一日平均給水量}} \times 100$ (高い方が良い)																								
【指標の解説】	有収率は、配水池等から給水区域内に送り出した水量に対して、水道料金の徴収対象となった水量の割合を示す指標で、高いほど事業の収益性が良いことを示す。																								
【評価】	<p>有収率は85%前後で推移しており、九十九里地域の各事業体の実績、千葉県や同規模事業体の平均と比較するとやや低い水準となっている。</p> <p>有収率が低下する要因は、漏水、メーターの不感、公共用水、消防用水などいくつかの要因が考えられるが、特に漏水やメーターの不感による場合は、事業の収益性が悪化するため、有収率の向上対策を講じる必要がある。</p>																								
	<table border="1"> <caption>有収率の比較</caption> <thead> <tr> <th>地域/事業体</th> <th>有収率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R2</td><td>84.7</td></tr> <tr><td>R3</td><td>86.6</td></tr> <tr><td>R4</td><td>85.2</td></tr> <tr><td>R5</td><td>84.2</td></tr> <tr><td>R6</td><td>83.2</td></tr> <tr><td>山武水道(企)</td><td>88.2</td></tr> <tr><td>八幡水道(企)</td><td>91.3</td></tr> <tr><td>山武市</td><td>91.3</td></tr> <tr><td>千葉県</td><td>92.7</td></tr> <tr><td>同規模</td><td>89.2</td></tr> <tr><td>全国平均</td><td>89.5</td></tr> </tbody> </table>	地域/事業体	有収率 (%)	R2	84.7	R3	86.6	R4	85.2	R5	84.2	R6	83.2	山武水道(企)	88.2	八幡水道(企)	91.3	山武市	91.3	千葉県	92.7	同規模	89.2	全国平均	89.5
地域/事業体	有収率 (%)																								
R2	84.7																								
R3	86.6																								
R4	85.2																								
R5	84.2																								
R6	83.2																								
山武水道(企)	88.2																								
八幡水道(企)	91.3																								
山武市	91.3																								
千葉県	92.7																								
同規模	89.2																								
全国平均	89.5																								

※1 データの出典：水道統計調査 ※2 九十九里地域、千葉県、同規模事業体、全国平均はR5年度

## 経営の健全性①

自己資本構成比率																											
【算出式】	$\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}}{\text{負債資本合計}} \times 100$ (高い方が良い)																										
【指標の解説】	負債及び資本に占める自己調達した資本の割合を示し、数値が高いほど健全な財政状態であることを示す。																										
【評価】	<p>(%)</p> <p>自己資本構成比率は、過去5年間で改善傾向であるものの、依然として九十九里地域の各事業体の実績、千葉県や同規模事業体等の平均を下回る水準である。自己資本で建設投資を行うことで、企業債の活用による支払利息の発生を抑制できるため、一定程度の自己資本を確保するよう努める必要がある。</p> <table border="1"> <caption>自己資本構成比率 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年度/地域</th> <th>比率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R2</td><td>57.53</td></tr> <tr><td>R3</td><td>58.86</td></tr> <tr><td>R4</td><td>59.9</td></tr> <tr><td>R5</td><td>60.46</td></tr> <tr><td>R6</td><td>62.31</td></tr> <tr><td>長生広域(組)</td><td>91.37</td></tr> <tr><td>山成水道(全)</td><td>81.48</td></tr> <tr><td>八咫水道(全)</td><td>71.86</td></tr> <tr><td>山武市</td><td>76.35</td></tr> <tr><td>千葉県</td><td>77.14</td></tr> <tr><td>同規模</td><td>73.18</td></tr> <tr><td>全国平均</td><td>73.18</td></tr> </tbody> </table>	年度/地域	比率 (%)	R2	57.53	R3	58.86	R4	59.9	R5	60.46	R6	62.31	長生広域(組)	91.37	山成水道(全)	81.48	八咫水道(全)	71.86	山武市	76.35	千葉県	77.14	同規模	73.18	全国平均	73.18
年度/地域	比率 (%)																										
R2	57.53																										
R3	58.86																										
R4	59.9																										
R5	60.46																										
R6	62.31																										
長生広域(組)	91.37																										
山成水道(全)	81.48																										
八咫水道(全)	71.86																										
山武市	76.35																										
千葉県	77.14																										
同規模	73.18																										
全国平均	73.18																										

※1 データの出典：決算状況調査 ※2 九十九里地域、千葉県、同規模事業体、全国平均はR6年度

累積欠損金比率																											
【算出式】	$\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}} \times 100$ (低い方が良い)																										
【指標の解説】	事業の経営状況を示す指標で、数値が高いほど経営状況が悪いことを示す。健全経営を行っている場合は0%となる。																										
【評価】	<p>(%)</p> <p>長生郡市広域市町村圏組合では、水道事業の累積欠損金は発生していない。今後も能率的な水道事業の経営等により累積欠損金を発生させない健全な事業経営を行う必要がある。</p> <table border="1"> <caption>累積欠損金比率 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年度/地域</th> <th>比率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R2</td><td>0</td></tr> <tr><td>R3</td><td>0</td></tr> <tr><td>R4</td><td>0</td></tr> <tr><td>R5</td><td>0</td></tr> <tr><td>R6</td><td>0</td></tr> <tr><td>長生広域(組)</td><td>0</td></tr> <tr><td>山成水道(全)</td><td>0</td></tr> <tr><td>八咫水道(全)</td><td>0</td></tr> <tr><td>山武市</td><td>0</td></tr> <tr><td>千葉県</td><td>0.38</td></tr> <tr><td>同規模</td><td>0</td></tr> <tr><td>全国平均</td><td>1.61</td></tr> </tbody> </table>	年度/地域	比率 (%)	R2	0	R3	0	R4	0	R5	0	R6	0	長生広域(組)	0	山成水道(全)	0	八咫水道(全)	0	山武市	0	千葉県	0.38	同規模	0	全国平均	1.61
年度/地域	比率 (%)																										
R2	0																										
R3	0																										
R4	0																										
R5	0																										
R6	0																										
長生広域(組)	0																										
山成水道(全)	0																										
八咫水道(全)	0																										
山武市	0																										
千葉県	0.38																										
同規模	0																										
全国平均	1.61																										

※1 データの出典：決算状況調査 ※2 九十九里地域、千葉県、同規模事業体、全国平均はR6年度

経常収支比率																											
【算出式】	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$ (高い方が良い)																										
【指標の解説】	事業の収益性を示す指標であり、当該年度において給水収益や繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度まかなえているかを示す。																										
【評価】	<p>(%)</p> <p>経常収支比率は100%以上を確保しており、経営の健全性は保たれていると考えられる。今後も能率的な水道事業の経営や水道料金の改定等の検討により最低限の収益性を維持する必要がある。</p> <table border="1"> <caption>経常収支比率 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年度/地域</th> <th>比率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R2</td><td>105.05</td></tr> <tr><td>R3</td><td>105.89</td></tr> <tr><td>R4</td><td>102.76</td></tr> <tr><td>R5</td><td>107.89</td></tr> <tr><td>R6</td><td>105.56</td></tr> <tr><td>長生広域(組)</td><td>100.95</td></tr> <tr><td>山成水道(全)</td><td>108.74</td></tr> <tr><td>八咫水道(全)</td><td>107.09</td></tr> <tr><td>山武市</td><td>106.64</td></tr> <tr><td>千葉県</td><td>108.49</td></tr> <tr><td>同規模</td><td>107.26</td></tr> <tr><td>全国平均</td><td>107.26</td></tr> </tbody> </table>	年度/地域	比率 (%)	R2	105.05	R3	105.89	R4	102.76	R5	107.89	R6	105.56	長生広域(組)	100.95	山成水道(全)	108.74	八咫水道(全)	107.09	山武市	106.64	千葉県	108.49	同規模	107.26	全国平均	107.26
年度/地域	比率 (%)																										
R2	105.05																										
R3	105.89																										
R4	102.76																										
R5	107.89																										
R6	105.56																										
長生広域(組)	100.95																										
山成水道(全)	108.74																										
八咫水道(全)	107.09																										
山武市	106.64																										
千葉県	108.49																										
同規模	107.26																										
全国平均	107.26																										

※1 データの出典：決算状況調査 ※2 九十九里地域、千葉県、同規模事業体、全国平均はR6年度

流動比率																											
【算出式】	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$ (高い方が良い)																										
【指標の解説】	短期的な債務に対する支払い能力を示す指標で、100%以上を確保する必要がある。																										
【評価】	<p>(%)</p> <p>流動比率はおおむね200%前後を確保しているため、財務状況は健全である。ただし、過去5年間で減少傾向であり、今後も減少が続く場合は留意が必要である。今後も、水道施設の更新を安定して実施するために、収益の悪化や非常時に備えて財源確保を継続することが望ましい。</p> <table border="1"> <caption>流動比率 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年度/地域</th> <th>比率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R2</td><td>213.88</td></tr> <tr><td>R3</td><td>218.91</td></tr> <tr><td>R4</td><td>214.42</td></tr> <tr><td>R5</td><td>188.77</td></tr> <tr><td>R6</td><td>159.01</td></tr> <tr><td>長生広域(組)</td><td>362.53</td></tr> <tr><td>山成水道(全)</td><td>458.19</td></tr> <tr><td>八咫水道(全)</td><td>433.09</td></tr> <tr><td>山武市</td><td>206.76</td></tr> <tr><td>千葉県</td><td>355.75</td></tr> <tr><td>同規模</td><td>239.69</td></tr> <tr><td>全国平均</td><td>239.69</td></tr> </tbody> </table>	年度/地域	比率 (%)	R2	213.88	R3	218.91	R4	214.42	R5	188.77	R6	159.01	長生広域(組)	362.53	山成水道(全)	458.19	八咫水道(全)	433.09	山武市	206.76	千葉県	355.75	同規模	239.69	全国平均	239.69
年度/地域	比率 (%)																										
R2	213.88																										
R3	218.91																										
R4	214.42																										
R5	188.77																										
R6	159.01																										
長生広域(組)	362.53																										
山成水道(全)	458.19																										
八咫水道(全)	433.09																										
山武市	206.76																										
千葉県	355.75																										
同規模	239.69																										
全国平均	239.69																										

※1 データの出典：決算状況調査 ※2 九十九里地域、千葉県、同規模事業体、全国平均はR6年度

## 経営の健全性②

企業債残高対給水収益比率	
【算出式】	$\frac{\text{企業債現在高合計}}{\text{給水収益}} \times 100$ (低い方が良い)
【指標の解説】	給水収益に対する企業債残高の割合を示す指標であり、低い方が外部負債の削減に努められており、財務状況が健全であることを示す。
【評価】	<p>(%)</p> <p>企業債残高対給水収益比率は過去5年で改善傾向だが、令和6年度末でも278.74%となっており、九十九里地域（山武市を除く）の実績、千葉県や同規模事業者の平均よりも高い水準である。</p> <p>施設の更新等の財源を企業債に過度に依存すると、支払利息の発生により財務状況が悪化するため、企業債の規模を適正に保ちつつ、自己財源も活用して更新事業を実施するなど、バランスの良い事業運営を行う必要がある。</p>

※1 データの出典：決算状況調査 ※2 九十九里地域、千葉県、同規模事業者、全国平均はR6年度

給水原価	
【算出式】	$\frac{\text{経常費用} - (\text{受託工事費用} + \text{材料及び不用品売却原価} + \text{附帯事業費}) - \text{長期前受金戻入}}{\text{有収水量}} \times 100$ (低い方が良い)
【指標の解説】	水道水1mあたりの製造コストを示す指標で、人件費、減価償却費、受水費、その他経費（動力費、薬品費、委託料等）で構成される。
【評価】	<p>(円/m)</p> <p>給水原価は、260~270円/m程度で推移しており、山武水道(企)や八匠水道(企)とは同程度の水準であるが、千葉県や同規模事業者の平均、全国平均と比較すると高い水準である。</p> <p>長生郡市広域市町村圏組合の給水原価の50%以上は受水費となっている。九十九里・南房総地域の用水供給事業は千葉県と統合予定であり、統合後は受水費単価の改定も見込まれていることから、将来の水道事業の経営に与える影響に留意する必要がある。</p>

※1 データの出典：決算状況調査 ※2 九十九里地域、千葉県、同規模事業者、全国平均はR6年度

料金回収率	
【算出式】	$\frac{\text{供給単価}}{\text{給水原価}} \times 100$ (高い方が良い)
【指標の解説】	水道水の供給にかかる費用がどの程度給水収益でまかなえているかを示す指標で、数値が100%を下回る場合、水道水の供給にかかる費用が給水収益以外の収入を持って充てられていることを示す。
【評価】	<p>(%)</p> <p>料金回収率は80%程度で推移しており、山武水道(企)や八匠水道(企)とは同程度の水準だが、千葉県や同規模事業者の平均よりも低い水準となっている。これは、水道料金の高騰を抑制するために市町村補助金を繰り入れていることが要因である。</p> <p>今後も、水道料金の急激な高騰を抑制するために市町村補助金を活用しつつ、水道事業の独立採算性の原則を踏まえて、将来的には料金回収率100%を目指すことが必要である。</p>

※1 データの出典：決算状況調査 ※2 九十九里地域、千葉県、同規模事業者、全国平均はR6年度

## 料金改定しない場合

単位：億円

項目	実績	推計		料金算定期間					
		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R9~R12計
<b>収益的収支（税抜）</b>									
収入	47	47	43	43	43	42	42	170	
うち給水収益	36	36	35	35	34	34	34	137	
うち市町村負担金	4	4	5	5	5	5	5	19	
うち県補助金	4	4	1	1	1	1	1	2	
支出	45	49	45	46	48	53	48	194	
営業経費等	34	38	34	34	35	39	34	143	
うち原水費及び浄水費	25	29	26	26	25	25	25	102	
うち配水費及び給水費	4	5	4	4	4	4	4	16	
うち業務費	2	3	3	3	3	3	3	10	
うち総係費	2	2	2	2	2	2	2	7	
減価償却費等	9	9	10	10	11	12	12	45	
支払利息	1	1	1	2	2	2	2	6	
純利益	2	△ 2	△ 2	△ 3	△ 5	△ 10	△ 6	△ 24	
<b>資本的収支（税込）</b>									
収入	7	9	12	4	6	6	6	22	
うち企業債	5	7	11	2	5	5	5	17	
うち国庫補助金	1	1	0	0	0	0	0	1	
支出	23	22	22	35	35	34	34	139	
うち建設改良費	15	13	14	28	28	28	28	113	
うち企業債償還金	9	9	8	7	7	6	6	26	
<b>企業債・資金残高</b>									
企業債残高	101	99	102	97	96	95	94	94	
企業債残高対給水収益比率	278%	278%	292%	280%	279%	279%	279%	279%	
資金残高	14	7	4	△ 20	△ 41	△ 67	△ 88	△ 88	

※本表の数値は表示桁数未満を四捨五入しているため、各項目の和と合計が一致しない場合がある。

## 必要最小限の料金改定を行う場合

単位：億円

項目	実績	推計		料金算定期間					
		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R9~R12計
<b>収益的収支（税抜）</b>									
収入	47	47	43	55	54	54	53	215	
うち給水収益	36	36	35	46	46	45	45	182	
うち市町村負担金	4	4	5	5	5	5	5	19	
うち県補助金	4	4	1	1	1	1	1	2	
支出	45	49	45	46	47	47	48	188	
営業経費等	34	38	34	34	34	34	34	137	
うち原水費及び浄水費	25	29	26	26	25	25	25	102	
うち配水費及び給水費	4	5	4	4	4	4	4	16	
うち業務費	2	3	3	3	3	3	3	10	
うち総係費	2	2	2	2	2	2	2	7	
減価償却費等	9	9	10	10	11	11	11	43	
支払利息	1	1	1	2	2	2	2	8	
純利益	2	△ 2	△ 2	9	7	6	5	28	
<b>資本的収支（税込）</b>									
収入	7	9	12	19	15	9	10	53	
うち企業債	5	7	11	17	14	8	9	48	
うち国庫補助金	1	1	0	0	0	0	0	1	
支出	23	22	22	29	28	27	27	111	
うち建設改良費	15	13	14	22	21	21	21	85	
うち企業債償還金	9	9	8	7	7	6	6	26	
<b>企業債・資金残高</b>									
企業債残高	101	99	102	112	120	122	125	125	
企業債残高対給水収益比率	278%	278%	292%	243%	262%	269%	279%	279%	
資金残高	14	7	4	13	18	18	18	18	

※本表の数値は表示桁数未滿を四捨五入しているため、各項目の和と合計が一致しない場合がある。